

平成19年度 農林水産省所管 情報通信基盤整備関連事業の概要

平成19年1月22日
農林水産省 地域整備課
水産庁 防災漁村課

平成19年度 情報通信基盤整備関連事業予算一覧

(単位:百万円)

施 策 名	平成19年度
	概算決定額
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（新規）【検討中】	34,088
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信基盤整備【農村振興局関連】【検討中】 	34,088の内数
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信基盤整備【水産庁関連】【検討中】 	34,088の内数
<ul style="list-style-type: none"> ・ その他メニュー【検討中】 	34,088の内数
農村地域IT化推進支援事業（新規）	20

1. 趣旨

都市と農村の共生・対流や活力と個性あるむらづくり等に向け、農村地域において、効率的な農業経営、農村の活性化及び市町村合併後の新たなむらづくりを支援するため、省内各部局及び関係府省が連携した情報通信基盤の整備を行う。

2. 事業内容

- (1) 地方公共団体、公共施設、農家等の情報通信ネットワークを構築し、農業情報を含む行政情報等の提供を行うとともに、高速、大容量及び双方向の通信等を可能とするケーブルテレビ施設の整備を行う。
- (2) 土地改良施設、集落排水施設等農業関係公共施設及び農業協同利用施設を(1)で構築する情報通信ネットワークに接続し、施設管理情報、防災情報等を受発信できる高度情報通信基盤の整備を行う。

3. 事業実施主体等

- (1) 実施主体
都道府県、市町村等
- (2) 補助率
定額 (1/3相当)



平成19年度概算決定額 34,088百万円の内数

[担当課室: 農村振興局 地域整備課総合整備事業推進室]

1. 趣旨

市町村のイニシアティブの下、都市と漁村の共生・対流を推進するため、「人、もの、情報」が循環する共通社会基盤を備えた新たなむらづくりを推進するために必要な生活環境基盤、交流基盤、情報基盤等の整備を行う。

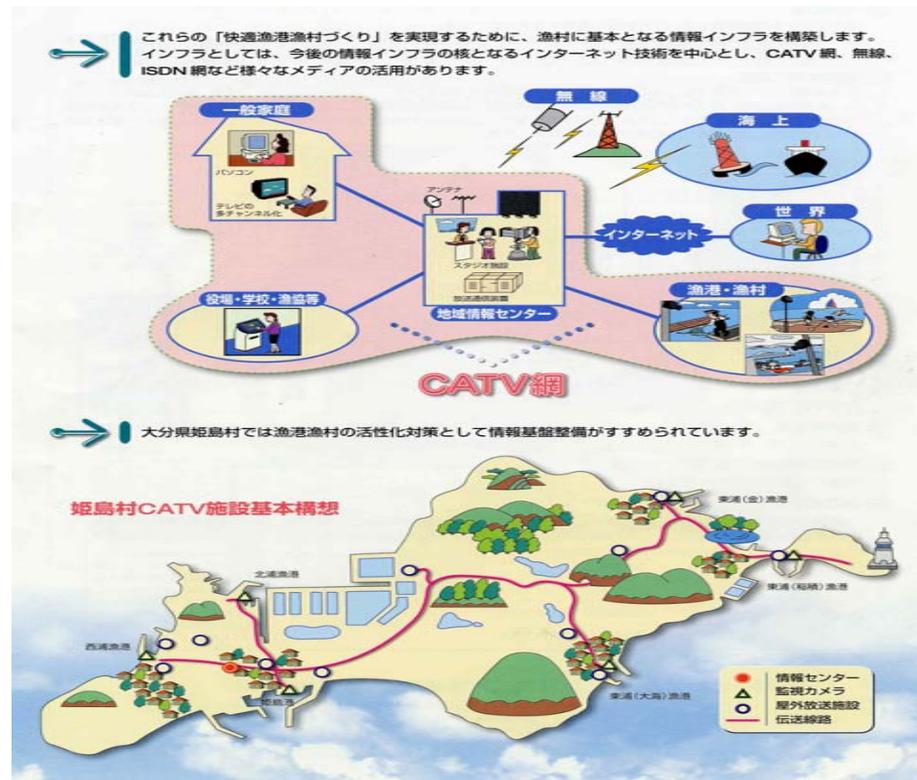
2. 事業内容

漁港漁村の高度情報活用や都市と漁村の双方向の情報循環を可能とし、水産業のIT化を図るために必要なCATV局等の地域情報センター、地域情報の収集等に必要なシステム、集中制御装置、光ファイバーケーブル等の伝送装置、漁業関係機関等公的機関の情報受発信装置、安全情報伝達施設等の施設を整備する。

3. 事業実施主体等

- (1)実施主体
都道府県、市町村等
- (2)交付率
定額 (1/3以内)

離島におけるCATV網の整備例



平成19年度概算決定額 34,088百万円の内数
[担当課室:水産庁 防災漁村課]

農村地域IT化推進支援事業(新規)

【情報通信基盤の整備を予定している地域】

○ 調査・検討・組織体制づくりを実施

地域協議会



市町村・土地改良区



法人・NPO等

- 農産物のブランド化
- 都市との交流促進
- 農業振興
- 地域活性化



地域IT化の
構想作り

情報格差の大きい農村地域に対して、IT化に向けた構想作りの支援を行うことにより、農村地域の持ち味を生かした取組を側面から支援し、ITを活用した農村地域の活性化を推進する。

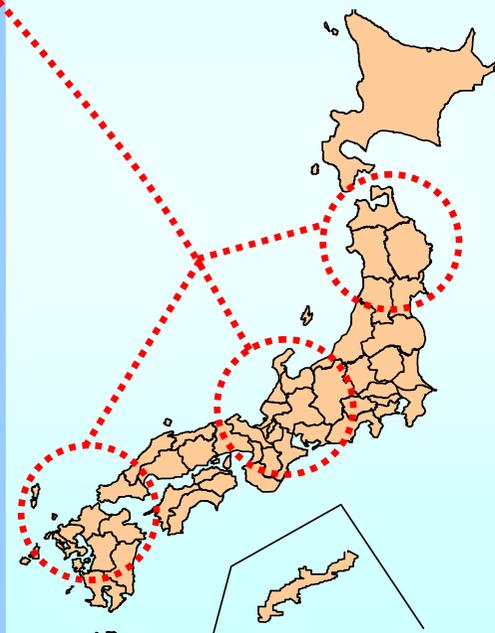
事業実施

情報通信基盤整備（農山漁村活性化プロジェクト支援交付金等）

高度な情報通信ネットワークを構築するため、高速、大容量及び双方向の通信を可能とするケーブルテレビ施設等の高速情報通信基盤の整備を行う。

【全国の農村地域】

情報格差が大きくIT化が遅れているが、IT化に取り組もうとする意欲のある農村地域が多数存在



- (1) 事業実施主体: 地域協議会
- (2) 補助率: 定額
- (3) 事業実施期間: 平成19年度～平成21年度

平成19年度概算決定額 20百万円

4

[担当課室: 農村振興局 地域整備課総合整備事業推進室]